

## 守山市水道ビジョン策定懇話会 第2回懇話会開催結果（概要版）

- 1 日 時 令和3年8月11日（水） 午後2時から午後4時まで
- 2 場 所 守山市立吉身会館 2階中会議室
- 3 出席者 〔委 員〕 山田淳会長、西谷順平委員、森田重吾委員、山田剛資委員  
〔事務局〕 市職員  
飯島上下水道事業所長、上畠同所次長  
井上施設工務課長、松浦同課工務係長、小野同課管理係長  
中井経営総務課経営係長、久光同課主任

- 4 欠席者 〔委 員〕 伊藤五作委員、三品きぬ江委員、北脇すみよ委員

### 5 協議事項

#### (1) 策定スケジュールの変更について

- ・当初のスケジュールから変更になる旨を説明。
- ・第2回目に水需要予測、第3回目に財政収支を含めて最終案を協議、第4回に最終とりまとめという予定に変更する。

#### 【主な質問】

Q. 市民参加手続きとはどういうものか

A. 計画を策定するとき、市民のご意見を聞く必要がある。2つ以上実施するというもので、1つはこの懇話会。もう一つはパブリックコメントもしくは市民説明会で、1月半ばから2月の頭を予定。

#### (2) 水道事業環境の予測 水需要予測について

- ・将来の水需要について説明。
- ・生活系は社人研の予測によると約10年は伸びて、その後下がる。原単位は、ここ10年でも1人当たり14リットルほど減っている中、結果的には人口が増えても水需要は減るということになる。
- ・業務系、工場系は一時的に増加しても、後は横ばい傾向。全体的には今後減っていくと予想される。
- ・令和12年度まで今後10年は増加傾向だが、令和18年度から減少傾向に転じる。用途別には、生活系は人口が増加しても水需要は減少。業務系と工場系は一時的に増加するも横ばい傾向。

### 【主な質問】

Q. 参考資料の6ページについて。生活用水量が生活用原単位かける給水人口になっている。5ページの給水人口グラフでは平成22年に比べて令和14年は10%以上上がっていると思う。真っすぐな線になるという計算結果は正しいのか。

A. 生活用原単位については、前回水道ビジョンのH22からR2まで265から241と下がっていく傾向。令和2年からの下がり幅はまだカーブが大きくてR14～16ぐらいになってくると、ほぼ原単位も同じぐらいの値という予測。生活用水量を見ると、これから下がってくる一方、これから上がることは現在ないという予測。現在人口は増加しているものの、実際の使用量は横ばい。生活原単位が減ってきて、それを増加人数で補っている。

Q. 生活用原単位がR32年では220とあるが、これはどこから求めたのか。

A. 滋賀県の水道ビジョンより。

Q. 水道ビジョンと経営戦略は別物でしょうか。

A. 別に作っているが、中身はほぼ同じ。ただし、水道ビジョンについては50年、100年先を見据えた中で作成。

Q. 地下水を利用している方は守山市にどれぐらいであるのか。

A. 地下水の人数は約80人。

### 【主な意見】

- ・資料6ページのグラフについて、生活用水量の縦軸の縦軸の単位をもう少し細かくしてカーブを見せた方がいい。縦軸の単位を1,000ぐらいにすると推移がわかりやすい。

- ・生活用原単位は、将来の守山市の家族構成、若い人の流入などによって変わってくる。

- ・水道料金は電気料金とは全然違う料金体系。水道料金は高い基本料金をとって、一人家庭になっても一世帯いくらという料金をかけているが、次第にその状況は変わってくる可能性もある。

- ・ロジスティック曲線などに実績をあてはめて、あっさりこうなりますというのはちょっとすっきりし過ぎている。

- ・将来の社会状況によって生活原単位というのも変わる可能性がある。今できるとこの範囲で、数字ではなく、ここは将来の状況によって変わるということを明記しては。

### (3) 実施方策の検討 具体的施策（案）

水道ビジョンの具体的施策（案）について説明。

#### 【主な質問】

Q. 「安全かつ安心な水の提供」という施策について、水道水を普通に飲もうという感覚がこの10年間で、なくなったという気がする。安全かつ安心でおいしい水を提供するのだから飲んで当たり前だと思う。この10年間で踏まえて、次の10年があつてしかるべきだが、事業所としてどう感じているのか。

A. この10年間では、ミネラルウォーターを買うということが生活様式として変わってきた。事業所としては、飲んで当たり前というより安全な水を飲める状態の方が大事。供給しているもの自体は10年、20年前とは大差ない。

#### 【主な意見】

- ・水道水といっても必ずしも直接飲むだけではない。料理、皿洗い、歯磨き、お風呂等にも使い、安全かつおいしい水っというのは、女性目線、家事をしている方、料理をする方からの視点によって違ってくる。

- ・おいしい水に関しては市町によっては、水道水、井戸水、市販の水と飲み比べるブラインドテストをしている。おいしい水にこだわるなら、水道のイベントなどでやってみては。

- ・9ページ左下①の下から4行目の「バックアップ機能として2系統化が有効であり」とあるが、バックアップとしても有効であるというところの評価を本文に入れては。

- ・11ページ目右下③のIoTとあるが、DX（デジタルトランスフォーメーション）というのを入れてみては。